



平田直巳後援会より

後援会長を大石成志さんより引き継ぎ、このたび平田孝夫が務めさせていただきますこととなりました。引き続きご支援ご協力を宜しく願いいたします。

平田直巳君の議員としての活動も2年目となりました。地域の課題や要

望をお聞きし、どう解決したらよいかを日々勉強しながら、試行錯誤を重ねて頑張っています。

地域を、そして私たちの生活をより良くするためには、皆様からの地域の声が大変重要です。この声を市政に届けるためにも、平田直巳君には頑

張ってもらわなければいけないと思っています。

これからも変わらぬご支援と活動の注視をお願いして、平田直巳君を議員として成長させていただきたく、宜しく願いいたします。

後援会会長 平田 孝夫

平田直巳であいさつ 地域の皆様からいただいた声を活動の原点に



新型コロナウイルス感染症やロシア連邦によるウクライナへの軍事侵攻など我々を取り巻く環境は、刻々と変化し、従来の常識が通用しない世の中になってきています。

市の諸課題においても、従来の常識から一歩踏み出して、やり方や考え方を変えていく必要性を感じています。

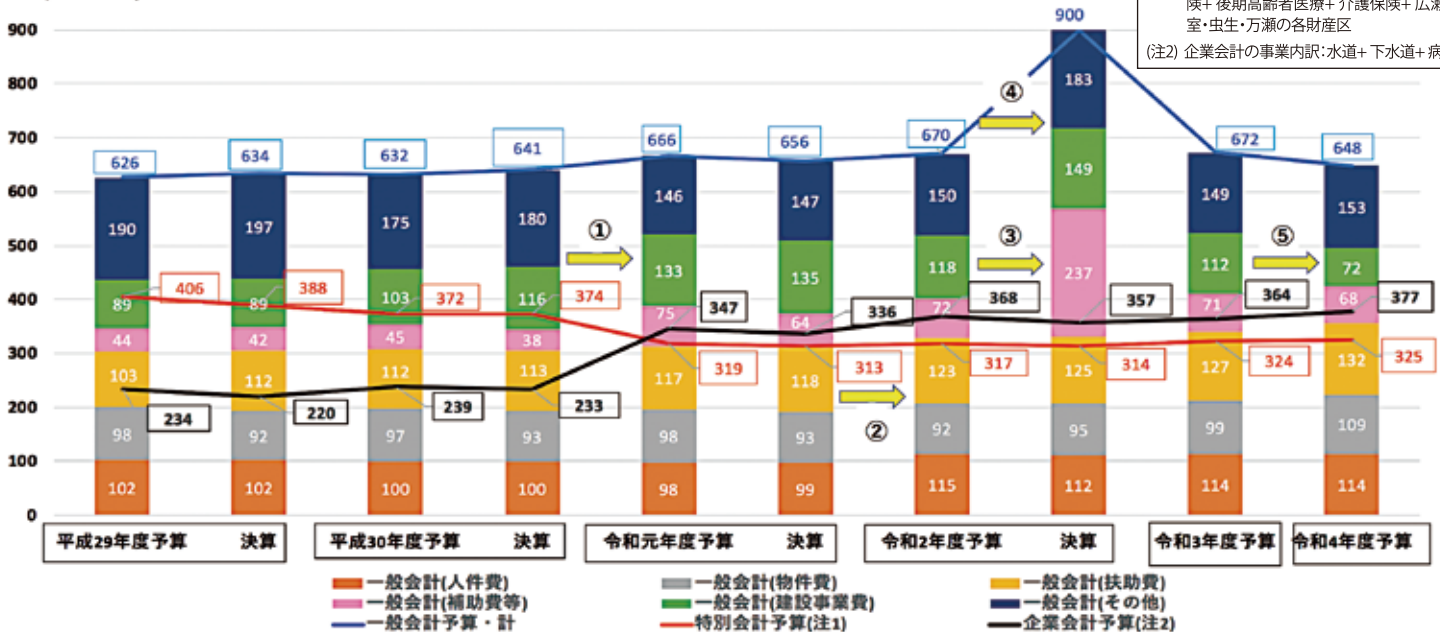
人が集まり、地域が活性化された磐田市とするために、磐田市の持つ資源、人の個性を活かし、新しい発想も柔軟に取り入れた、市独自の「磐田モデル」を作り上げていくことも必要だと思っています。

さて、磐田市議会議員としての活動も2年目に入りました。2月と6月の各定例会では、地域の皆様からいただいた声(課題)を中心に一般質問をさせていただきました。高齢者の居場所や子ども食堂、空き家対策、友好都市等と多岐にわたっての質問です。

まだまだ勉強すべきことがたくさんありますが、引き続き市民の皆様のご意見を聞かせていただき、ひとつひとつを積み上げて、安心・安全に暮らせる魅力ある磐田市を作っていくように活動してまいりますので、よろしくお願いいたします。

磐田市の会計予算・決算～平成29年度から令和4年度までの推移

(単位：億円)



(注1) 特別会計の事業内訳：駐車場+国民健康保険+後期高齢者医療+介護保険+広瀬・岩室・虫生・万瀬の各財産区
(注2) 企業会計の事業内訳：水道+下水道+病院

- ① 令和元年度から「一般会計・補助費等」(ピンク部)の増額は、下水道事業の企業会計への移行に伴う下水道事業会計負担金の増額による。また、「一般会計・その他」(青色部)の減額は、下水道事業の企業会計への移行による下水道事業特別会計繰出金の皆減による。
- ② 少子高齢化の影響により、「一般会計・扶助費」(黄色部)は徐々に増加傾向にある。
- ③ 令和2年度の「補助費等」(ピンク部)決算の大幅増額の要因は特別定額給付金(10万円/一人)支給による。
- ④ 令和2年度の「一般会計・その他」(青色部)の決算増額分は防潮堤整備に係る企業からの寄付金を基金に積み立てたため。
- ⑤ 令和4年度の「一般会計・建設事業費」(緑色部)の減額は、新市民文化会館、ながふじ学府一体校、今之浦公園等の大型事業の完了による。

2.活動報告 (令和4年1月以降)

令和4年2月定例会 2月18日～3月24日 (35日間)

- 一般会計補正予算の審査 2億2706万4千円
 - ① 津波対策事業基金積立金
 - ② 電子クーポン活用事業等
- 特別会計及び事業会計補正予算の審査
- 第2次磐田市総合計画後期基本計画の審査
- 条例の制定(10議案)の審査 他

令和4年5月臨時会 5月16日～5月23日 (8日間)

- 副議長の選挙・・・芥川議員を選出
- 一般会計補正予算(第1号)の審査 5億9258万2千円
 - ① 住民税非課税世帯等臨時特別給付金給付事業(国庫支出金)
 - ② 新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金支給事業(国庫支出金)

令和4年6月定例会 6月9日～7月7日 (29日間)

- 一般会計補正予算(第2号)の審査 4億1224万6千円
 - ①子育て世帯生活支援特別給付金給付事業(国庫支出金)
 - ②住民税非課税世帯等臨時特別給付金給付事業(国庫支出金)
 - ③ 学校給食食材調達事業(国庫支出金を財源)
- 一般会計補正予算(第3号)の審査 2億2309万円
 - ① 新型コロナウイルス感染症対応事業(国庫支出金)
 - ② 市民文化会館臨時駐車場整備事業
 - ③ 中小企業支援事業等
- 病院事業会計補正予算 4550万円
- 条例の制定(7議案)の審査 他

建設産業委員会

- 委員会への付託議案審査や所管事務調査等

お知らせ

1億円いわた電子クーポンキャンペーンに参加しよう!

- ・デジタルスタンプラリー実施期間 7月1日～9月30日
 - ・電子クーポン使用期間 8月1日～11月30日
- スマートフォン等を使い本事業の取扱店で1,000円以上の買い物をした際に1店舗あたり1つのデジタルスタンプを獲得。スタンプ3つで応募・抽選して、磐田市内で使える1,000円分の電子クーポンが当たります。

移動販売が始まりました

遠鉄ストアの移動スーパーや杏林堂の「とくし丸」に加えて、新規にJAも「ときめきマルシェ」として、買い物でお困りの方たちのために、7月より販売を開始しました。



■磐田市に関する情報は「磐田市ホームページ」をご確認ください

平田直巳(せいわ会)

昭和34年1月生 磐田市豊岡(旧竜洋町)
 経歴 浜松日体高等学校、中央大学、エンシュウ(株)
 旧竜洋町消防団元団長、
 竜洋西小学校元PTA会長、竜洋中学校元PTA会長
 磐田市まとい会理事、
 竜洋空手スポーツ少年団長、日本空手協会竜洋支部長
 日本空手協会静岡県本部理事
 委員会 建設産業委員会、
 天竜川治水促進期成同盟会、
 磐田市都市計画審議会



日々の活動はこちらから! 平田直巳facebook▶

3.一般質問報告

R4/2月定例会・一般質問より

質問 高齢者や子どもの居場所づくりへの支援について

回答 市の職員が活動の場に足を運ぶなどして顔の見える関係づくりに努めながら、市の適切な支援について他自治体の取組も参考にしながら研究していく。



ふれあいの居場所 ひまわりの郷 (磐田市豊岡)

質問 「道の駅」を磐田市に整備する考えについて

回答 市が直営で設置する考えはないが、法人等から設置相談があれば、市としてできる支援策を考えていく。

質問 海や川でのスポーツを安心して楽しむため、竜洋海洋公園を拠点として水難救助体制の整備について

回答 消防署と合同で民間団体とのさらなる連携・協力体制の構築を図っていく



(竜洋海洋公園) 水上オートバイでのレスキュー訓練

※後日、竜洋海洋公園とUSPR(静岡水上オートバイレスキュー連合体)で水上オートバイの海難救助活動に係るスロープ使用協定の覚書が締結されました。

R4/6月定例会・一般質問より

質問 山口県阿武町における給付金の振込ミスの問題を受けて、磐田市として見直した部分や再度徹底を促した点について

回答 業務はこれまでも一人の担当者に任せきりにせず、ミスを起こさせない仕組みづくりに取り組んでいる。今回の事件により、本市においても誤りが発生しないよう処理方法を再度確認している。

質問 税制面や政策面で空き家対策として、市として考えについて

回答 空き家除去事業補助金や空き家を除去した土地に係る固定資産税等の減免制度により、一定の効果があるが、これにまたプラスでいい制度をつくることをできれば対応していきたい

質問 友好都市(長野県の駒ヶ根市、喬木村、伊那市、中野市、岡山県の玉野市)の位置づけについて

回答 友好都市の締結は玉野市を除き合併前の旧市町で行われており、締結に至った経緯を尊重し、現状の交流を継続していきたい。



一般質問に関する詳しい内容は

「磐田市議会インターネット中継」をご確認ください。

- 「録画中継」の項目で「議員名で探す」から入ってください。
- 動画も再生できますので、質問の様子が映像でご覧になれます。

<http://www.iwata-city.stream.jfit.co.jp/>▶

